

農業（産業振興課）



佐々木 佳陽 さん 大槌町出身

活動内容・エリア：就農活動、地域農業の情報発信、地域農業の課題解決に向けた活動、地域行事などに関する活動
大槌の魅力：優しい町



(株)ソーシャル・ネイチャー・ワークス



工藤 秀佳 さん 北海道出身

活動内容・エリア：大槌ジビエソーシャルプロジェクト（OGSP）の事務局運営、釜石・大槌ハンター育成プロジェクトの企画運営、鹿革製品の商品化支援、イベントの出店など。
大槌の魅力：海産物が安くて美味しいところ、鹿肉・山菜が美味しいところ、山が日々いろんな色に移り変わっていくところ、野生動物が身近にたくさんいるところ。



菅原 孝太 さん 北海道出身

活動内容・エリア：大槌ジビエソーシャルプロジェクト（OGSP）の普及・広報活動。拠点はおおつち地場産業活性化センター・MOMIJI。
大槌の魅力：山と海のコラボ、新しいことに挑戦する土壌、豊かな人

フェイスブックで

大槌町地域おこし協力隊の活動の様子が見られます！



MOMIJI (株)



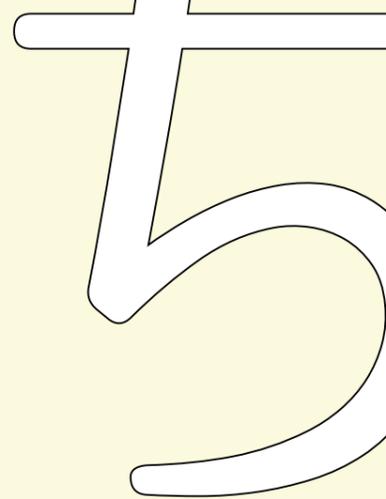
佐宗 辰哉 さん 東京都出身

活動内容・エリア：MOMIJI 株式会社にて、シカの解体などを学んでいます。解体所での作業がメインとなりますが、狩猟期間以降は町内での捕獲も行いたいです。
大槌の魅力：海の幸にも山の幸にも恵まれているというのは、大きな魅力だと思います。異常な多さのシカも、資源として有効活用していきたいです。



東日本大震災から10年という区切りを迎え、町はこれまでの「復興」から更なる発展に向け新しい局面に突入していきます。その基盤になるのが観光・産業の振興、そして防災・震災伝承に向けた取り組みです。そのためには町は新しいパワー、異なる分野での経験を持つ人材を求め、4月から8人の「ちおこ」を迎え入れました。「ちおこ」の「ち」は地域の「地」。地域とは、私たちが住む大槌です。「ちおこ」の皆さんと一緒に、町を盛り上げていきましょう。

特集「ちおこ」の



ちおこの「ち」は地域の「地」

「ちおこ」という言葉を耳にした事がありますか？「ちおこ」とは、「地域おこし協力隊」の略です。都市地域から過疎地域などの条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRといった「地域おこし支援」や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。隊員は町の委嘱を受け、任期は概ね1年〜3年です。ここではスタートした「ちおこ」の活動について伝えます。

大槌町観光交流協会



片山 悠 さん 東京都出身

活動内容・エリア：SNS 発信や観光協会のホームページにて飲食店・宿泊施設の掲載。今後は飲食店や宿泊施設の取材で町中を回る予定です。
大槌の魅力：コンパクトな町だからこそのスピード感。町中での生活を通して、身近に感じる桜やつつじ、新緑など自然の移り変わり。



服部 真理 さん 東京都出身

活動内容・エリア：町内での誘客活動、着地型観光のプログラム開発、販売・営業、三陸・岩手・東北の観光コンテンツ・観光事業者との連携など。人と人をつなげる観光コーディネーター。
大槌の魅力：情熱的な人々、美味しい水と食



おらが大槌夢広場



北浦 知幸 さん 京都府出身

活動内容・エリア：震災伝承のための語り部・研修・教育を町内で継続して進めるための準備、調査を行っています。
大槌の魅力：女性が元気な町だということが魅力だと感じました。



古屋 博克 さん 静岡県出身

活動内容・エリア：歴史などを活用した観光コンテンツの開発、ふるさと納税・特産品関係。安渡大槌孫八郎商店を拠点に活動。
大槌の魅力：五感で海と山の四季を一遍に楽しむことのできるコンパクトな町、郷土愛にあふれた町